

対馬海上保安部長挨拶

対馬海上保安部のホームページをご覧の皆様こんにちは。部長の桑原です。

日頃より海上保安業務にご理解とご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

歴史ある国境の島ここ対馬は、日本の本土と大陸との間に位置し、周辺海域は古くから海上交通の要衝となっており、国際海峡である対馬海峡には今なお多くの船が行き交う一方で、豊かな海は好漁場を形成し、様々な漁業が営まれております。

また、対岸の韓国・釜山まで約27海里（約50キロメートル）と九州本土までの半分以上の距離というシチュエーションは、まさに国境の島と感じさせられるものです。

対馬海上保安部では、対馬市の皆様をはじめ海に関わる皆様が、この対馬の美しい海に親しみ、安全に安心してご利用いただけるよう、比田勝海上保安署、所属する5隻の巡視船艇（らいざん、あさじ、なつぐも、はやぐも、あきぐも）と共に職員一丸となって尽力する所存です。

さて、春風が心地よい季節となりました。春の海は穏やかな表情を見せてくれることが多く感じます。新年度もスタートし、この時期は転勤や入学・進学、大型連休などで対馬の海を往来・利用される方々が多くなる時期でもあります。このため、

- ”海の安全情報” による情報提供
- 春季大型連休安全推進活動
- 海洋環境保全指導・啓発活動（海洋環境保全推進月間）
- テロ対策、犯罪の未然防止（GW特別警戒）

など、春の対馬の海をしっかりと守るべく様々な取り組みを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策についても、関係機関と緊密に連携し必要な対応を行ってまいります。

海上保安官の活動は、その多くが海を舞台に行われますので、日頃皆様と接する機会は必ずしも多くありませんが、これからもこのホームページを通じて、海に関する様々な情報を発信し、皆様のお役に立てればと考えております。

今後とも、対馬海上保安部及び比田勝海上保安署への変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和4年4月
対馬海上保安部長

桑原 裕志

